

日本周辺海域火山データベース - その2 -

The database of the marine and submarine volcanoes in the Japanese Waters -Part 2-

笹原 昇[1]; 夏 淑輝 [2]; 小原 泰彦[1]

Noboru Sasahara[1]; Shuhui Xia[2]; Yasuhiko Ohara[1]

[1] 海洋情報部; [2] スープレソフト

[1] Hydrographic and Oceanographic Dept.of Japan; [2] Supresoft

2003 年合同大会において紹介した海域火山データベース情報が海洋情報部ホームページ (www1.kaiho.mlit.go.jp) にて公開されている。

本データベースは、海上保安庁海洋情報部が海上における安全確保のため、日本周辺の海域火山において観測調査された資料をまとめたものである。内容は、海底地形、地磁気・重力異常、地震波速度構造、航空・船上写真、映像、噴火記録などである。

今大会では、本データベースから新たに得られた資料を紹介したい。その一例として、データベースの航空写真から作成した西之島の地形デジタルデータを用い、地形変化を示す。この作成には、(株)スープレソフトジャパンの「VirtuoZo」を使用した。このソフトにより、アナログ地形図では、表現できなかった写真画像とDEMを合わせた鳥瞰図や各年代地形図を重ね合わせた地形変化図などの作成が可能となった。デジタルデータならではの処理成果を示してゆく。

西之島は1973年の火山活動により、新島が誕生し、1974年顕著な火山活動は停止し、漂砂等により新島と旧島が結合した。その後も砂浜部分が拡大したが、地上で固結した溶岩が波浪により侵食されたり等、地形変化が激しい。海上保安庁では、南方海域火山監視の一環として、年2回ほど西之島において写真撮影を実施している。